

平成 30 年度 事務事業評価シート					部名	福祉部	課名	福祉課	
事務事業名	結婚祝賀会事業				課長名	中村 稔	課直通電話	048-594-5534	
					課における業務割合		1.0%		
概要	第五次総合振興計画 前期基本計画の位置付け	施策	2-3 高齢者福祉の充実		主な基本事業	2-3-1 生きがいと社会参加の促進			
		基本事業 指標	生きがいを持っている高齢者の割合						
	まち・ひと・しごと 創生総合戦略の位置付け	基本目標 と 施策	Ⅲ ともに支え合う地域をつくり、市民の暮らしを守る 1 誰もがいきいきと健康に暮らし続けるための仕組みづくり						
	根拠	法令等			個別計画				
	目的	結婚から50年を迎えた夫婦と三世代に渡るご夫婦が同居している世帯に敬意を表し、結婚祝賀会事業の開催を補助し、式典を行うこと によって社会福祉の増進に寄与することを目的とする。			内容	結婚祝賀会の開催 【当日内容】 ①夫婦記念写真撮影 ②式典 ③アトラクション			
	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 議会 <input type="checkbox"/> 職員							
計画	数値目標名	単位	前年度 (H29)	実施年度 (H30)	今年度 (R1)	計画年度 (R2)	将来目標 (R)	指標 区分	
			目標値					活動指標	
	出席率	%	目標値	60	60	60	60	成果指標	
		実績値	53	43					
実施	事務事業のコスト(単位:千円)								
		前年度 (H29) 決算	実施年度 (H30) 当初 予算	実施年度 (H30) 決算	今年度 (R1) 当初 予算	計画年度(見込)		備考	
						(R2)見込	(R3)見込		
		総事業費	1,424	—	1,175	—	—	【決算額の増減理由】 事業費について、市及び社協において折半 で負担(H29:805千円 H30:410千円) R元については、欠席者への記念品を見込 んだための微増	
		総事業費人口一人当たり(円)	21	—	18	—	—		
		事業費	402	205	191	230	0		0
	内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		0
		県支出金	0	0	0	0	0		0
		地方債							
		その他特財	0	0	0	0	0		0
	一般財源	402	205	191	230	0	0		
	業務割合に基づく事業人件費	1,022	—	984	—	—	—		
	業務割合	1%	—	1%	—	—	—		
	課の年間人件費(概算)	102,253	—	98,428	—	—	—		
評価・改善	事務事業の目標に対する実績(設定した目標に対する取組と成果)								
	結婚式当日に出席いただいた方には、記念写真撮影を行うなど出席率の向上に努めた。								
	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	方今	事業の活動(回数、範囲など)	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 現状維持	
		<input type="checkbox"/> 終了		向後	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 改善効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> その他 ()	
			性の	次年度予算	<input type="checkbox"/> 増額	<input checked="" type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 現状維持		
今後の方向性(課題と対応)									
【事業の適正】結婚という個人的な祝事を行政が実施及び補助することの適正について、今後検討していく必要がある。 【出席率の増加】出席率の増加に向けて、結婚式事業の周知やアトラクションの内容の充実を図る必要がある。									